

はじめに

新型コロナウイルスの世界各地の感染がまだまだ続いております。感染症によりお亡くなりになられた方々、及びご家族や関係者の皆様に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者をはじめ感染防止にご尽力されている皆さまに深く感謝申し上げます。一日も早く事態が収束し、これまで通りの日常生活に戻るができるようになることを心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の対策のためリモートワークが始まり、ワークスタイルの多様化が進みだしています。今回の感染拡大対策の中で、紙の帳票や文章に関する問題が浮き彫りになってきました。紙文書に捺印をするためだけに本社したり、感染者の届け出を手書きの FAX で送ったりという旧態依然とした仕組みが話題になりました。長年なかなか進まなかったペーパーレス化ですが、今回のワークスタイルの変革により今度こそ急速に進むのではないかと思います。今後我々ビジネス機器メーカーとしても、新しいワークスタイルに合ったソリューションを提案していく必要があります。

技術調査専門委員会は、本年度も「当産業協会会員各社の大きなビジネス領域を占める画像技術とそれを取り巻くハードウェア・ソフトウェア技術に関する先端技術の調査・検討を行ない、広く会員各社に紹介し、技術の向上に寄与する。」ことを基本方針として活動を行いました。本報告書では、その活動を報告します。

本年度は、現地調査を2件、講演会を1件実施しました。

現地調査としては、山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンターと、その下部組織である山形大学インクジェット開発センターを訪問し、最先端の有機エレクトロニクス技術やインクジェット技術開発の取り組みについて見学しました。もう1件はNTTグループの最新技術や研究成果を講演・展示する「NTT R&D フォーラム 2019」を見学しました。

講演会としては、「疲労計測（ビジネス環境と疲労）」というテーマで、疲労度の可視化技術のみならず、疲労科学の知見から近年開発した総合的健康度を可視化するための「健康関数[®]」についてご講演いただきました。

本年度の報告書も、会員各社の皆様に広くご活用いただき、今後の会員各社の更なる発展に寄与できれば幸いです。

最後に、お忙しい中活動にご協力いただいた、会員各社、講演会、現地調査の関係の皆様、ならびに当専門委員会委員、事務局の皆様には、心より感謝申し上げます。

2020年6月

技術委員会 技術調査専門委員会
委員長 西原 雅宏

禁 無 断 転 載

2019 年度「ビジネス機器関連技術調査報告書」“はじめに”部

発行 2020 年 6 月

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)

技術委員会 技術調査専門委員会

〒108-0073 東京都港区三田三丁目 4 番 10 号リーラヒジリザカ 7 階

電話 03-6809-5010(代表) / FAX 03-3451-1770